

評価年度	令和 7 年度
担当課所	福祉課

【基本情報】

事業名称	町社会福祉協議会補助金
------	-------------

基本目標	④ すべての世代に配慮された社会保障の充実
------	-----------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	38	03	01	01	21	町社会福祉協議会補助金

事業期間	～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	29,000	32,290	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標 (KPI) ・実績値】

項目	町補助事業分の補助額に対する決算額				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	29,000	30,400	30,400	30,400	30,400
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	25,858				
達成率	89.2%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	5	4	4	4
二次評価	4	5	4	4	4

事業の実施理由	町がすべての福祉事業を直営で行う場合、多大な予算と人員が必要となる。専門組織である社協に補助金を交付し、事業を委託することで、町の財政的・行政的な負担を軽減し、より効率的な行政運営を可能としている。
---------	---

事業の概要	地域における社会福祉の推進を図ることを目的とした活動を行う社会福祉法人小鹿野町社会福祉協議会へ補助金を交付する
-------	---

事業の課題	人口の減少や世帯収入の減少により、会費を納める世帯が減り、収入源が不安定になる。
-------	--

今後の方針	補助金が減少すると、事業の継続に影響が出る可能性があるため、今後も継続したい。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計		
21	[コメント] 高齢化が進む中で高齢者福祉においては、町社会福祉協議会及び町は互いに中心的役割を担っている。人手不足の中で高齢者福祉の充実を図ることは、町社会福祉協議会の協力が不可欠である。最終的に高齢者福祉に責任を負うべきは行政となることから、町社会福祉協議会の安定的な運営は重要である。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計		
21	[コメント] 地域の社会福祉の推進活動を実施する町社会福祉協議会は、少子高齢化が進む中で、今後も大きな役割を担うことが予想される。町社会福祉協議会の安定運営を図ることは、町の福祉行政を推進するために当該補助金は必要である。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止した方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	7	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	福祉課

【基本情報】

事業名称	ねたきり老人手当費
------	-----------

基本目標	④ すべての世代に配慮された社会保障の充実
------	-----------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	39	03	01	04	12	ねたきり老人手当費

事業期間	～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	85	180	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	ねたきり老人手当で支給者3名				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 3	(目標値) 3	(目標値) 4	(目標値) 4	(目標値) 3
実績値	(実績値) 2.1	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	70.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	4	3	3	4
二次評価	5	4	3	1	3

事業の実施理由	在宅で生活する寝たきりの高齢者及び重度の認知症高齢者並びにこれらの介護者に手当を支給することにより、高齢者の福祉の増進を図る。
---------	---

事業の概要	小鹿野町に住所を有する65歳以上の老人であって、疾病等により、常時臥床の状態若しくはこれに準ずる状態にあるか、又は重度の認知症の状態にあつて、その状態が6箇月以上継続している方に対し、月額5,000円支給する。
-------	---

事業の課題	支給要件として、施設に入所していないこと。小鹿野町在宅重度心身障害者手当、埼玉県特別障害者手当及び埼玉県経過的措置による福祉手当の受給者は除外するため、利用者が少ない。
-------	--

今後の方針	受給者人数は少ないが、在宅で生活する寝たきりの高齢者または介護者の助けとなっており、今後も必要な事業である。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計		今後の事業方針
18	[コメント] 在宅で生活する寝たきりの高齢者または介護者の支援として、必要な事業である。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計		今後の事業方針
16	[コメント] 在宅で生活する寝たきりの高齢者又はその介護者への支援として必要と考える。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	6	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	こども課

【基本情報】

事業名称	子育て支援金給付事業
------	------------

基本目標	③ かがやく未来へ おがの人づくり
------	-------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	26	03	02	01	19	子育て支援金給付事業費

事業期間	平成27年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	----------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	3,950	4,300	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	出生者数の増加				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 20	(目標値) 25	(目標値) 25	(目標値) 25	(目標値) 28
実績値	(実績値) 16	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	80.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	3	2	4	3
二次評価	5	3	2	4	3

事業の実施理由	様々な子育て支援策を行っているうちのひとつであるが、支援金があってもなかなか出生数が増加しない。
---------	--

事業の概要	子の誕生日において小鹿野町に住所を有し、出産により父若しくは母となった者に支援金を支給する。 支給額：子一人につき10万円
-------	--

事業の課題	様々な子育て支援策を行っているうちのひとつであるが、支援金があってもなかなか出生数が増加しない。
-------	--

今後の方針	少子化対策に力を入れている今は継続する必要がある。
-------	---------------------------

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	少子化対策のための支援として複合的に実施していく必要がある。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	一次評価者と同様	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

				[コメント]
0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	・子一人一律でなく2人、3人と差を付けてほしい。 ・PR強化をお願いしたい。
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	5	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	2	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	こども課

【基本情報】

事業名称	児童遊園地維持管理業務
------	-------------

基本目標	④ すべての世代に配慮された社会保障の充実
------	-----------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	29	03	02	03	13	児童遊園地維持管理費

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	299	1,966	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	児童遊園地の撤去				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	3	6	4	4	4
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	1	5			
達成率	33.3%	83.3%			

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	3	2	4	4
二次評価	5	1	2	4	4

事業の実施理由	こどもの人数に対し、不要な遊園地遊具が多く、安全基準に適合しない遊具が複数存在している。
---------	--

事業の概要	児童遊園地の清掃並びに遊具等の安全管理を実施する。 また、令和6年度に実施した「児童遊園地遊具安全点検業務」において、最低評価を受けた施設については、令和7年度中に撤去予定。
-------	--

事業の課題	こどもの人数に対し、不要な遊園地遊具が多く、安全基準に適合しない遊具が複数存在している。
-------	--

今後の方針	予算の限り、不要な遊園地遊具を撤去し、こどもが利用する遊園地遊具については整備を実施する。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
18	前年度と比較し、事業実績を数字で証明している。また、来年は「下小鹿野遊園地」において、大規模な複合遊具の入れ替えを予定している。こどもの遊び場を確保するためにも事業の予算を確実に確保いただきたい。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
16	経年劣化により、安全上に問題が生じている遊具が多く、少子化により使用されない現状もあり、町内の児童遊園の見直しをおこなっている。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	7	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	こども課

【基本情報】

事業名称	プレーパーク事業
------	----------

基本目標	④ すべての世代に配慮された社会保障の充実
------	-----------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	30	03	02	03	19	プレーパーク事業費

事業期間	令和3年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,871	1,900	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	プレーパーク実施回数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	10	12	12	0	0
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	11				
達成率	110.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	5	2	5	4
二次評価	2	5	2	5	4

事業の実施理由	当初は地域住民が中心となって活動する方向で始めたが、町の支援がないと難しいため、今後も続けていく場合は委託する必要がある。
---------	---

事業の概要	プレーパークの運営業務の委託
-------	----------------

事業の課題	当初は地域住民が中心となって活動する方向で始めたが、町の支援がないと難しいため、今後も続けていく場合は委託する必要がある。
-------	---

今後の方針	毎回100人を超える参加者があり、子どもの遊び場として定着している。また、大人や学生ボランティアの活動の場としても広がりつつあり今後も継続して実施する。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
18	子どもの遊び場として定着しつつ、地域住民の活動の場としても広がりを見せており、今後も継続して実施したい。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
18	継続したい事業である一方で目標を定めたり、評価を検証するなどの取り組みが弱いので強化しつつ継続していきたい。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	5	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	1	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	こども課

【基本情報】

事業名称	民間放課後児童対策事業費
------	--------------

基本目標	④ すべての世代に配慮された社会保障の充実
------	-----------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	32	03	02	04	32	民間放課後児童対策事業費

事業期間	～ 令和10年度	事業終期	令和10年度
------	----------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	17,061	18,060	0	0	0
県補助	17,730	19,373	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	20,651	24,080	0	0	0

補助事業名	子ども・子育て支援交付金 埼玉県放課後児童健全育成事業費補助金
-------	---------------------------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	学童クラブ待機児童ゼロ				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	0	0	0	0	0
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	0				
達成率					

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	3	4	5	5
二次評価	5	3	4	5	5

事業の実施理由	全て委託事業となっているため、小鹿野ひまわり福祉会との関係性を慎重に行う必要がある。
---------	--

事業の概要	放課後児童健全育成事業を小鹿野ひまわり福祉会へ委託する事業
-------	-------------------------------

事業の課題	全て委託事業となっているため、小鹿野ひまわり福祉会との関係性を慎重に行う必要がある。
-------	--

今後の方針	学童保育の需要が高まっているため、今後も継続して実施する。
-------	-------------------------------

【1次評価結果】

評価点計	22	[コメント] 学童保育の需要が高まっており、子どもたちの健全育成のため、今後も継続して実施する必要がある。	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)
------	----	--	---------------------------

【2次評価結果】

評価点計	22	[コメント] 一次評価者と同様	今後の事業方針 A 現状維持(従来通り実施)
------	----	--------------------	---------------------------

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】 ・将来的には見直した方が良いと思う。(児童の減少)
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	7	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	こども課

【基本情報】

事業名称	ワンストップ子育て包括支援業務(子育て世代包括支援センター)
------	--------------------------------

基本目標	④ すべての世代に配慮された社会保障の充実
------	-----------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	35-1	04	01	01	13	母子保健事業費

事業期間	平成30年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	----------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	4,815	3,001	0	0	0
県補助	1,553	449	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	3,620	4,310	0	0	0
一般財源	24	557	0	0	0

補助事業名	子ども・子育て交付金 利用者支援事業補助金
-------	--------------------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	妊娠・出産に満足している者の割合(3か月健診時アンケートより)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 1	(目標値) 1	(目標値) 1	(目標値) 1	(目標値) 1
実績値	(実績値) 1	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	4	3	4	4
二次評価	4	4	3	4	4

事業の実施理由	子育て家庭の悩みは多岐にわたり、経済的な問題、夫婦間の関係、孤立感、子どもの発達に関する不安など、複雑化しています。そのようなニーズに対応し、質の高い支援を提供できる専門職を継続的な確保すること。
---------	--

事業の概要	妊婦及び配偶者並びに子ども及びその保護者に相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行い、関係機関との連絡調整や子育て支援事業等の提供を行い、妊娠期から切れ目のなく支援する事業(保健指導、健康診査、母子手帳交付、産後ケア、養育医療等含む) 【必要経費】8,317千円(国庫補助金・県費補助金あり)
-------	---

事業の課題	子育て家庭の悩みは多岐にわたり、経済的な問題、夫婦間の関係、孤立感、子どもの発達に関する不安など、複雑化しています。そのようなニーズに対応し、質の高い支援を提供できる専門職を継続的な確保すること。
-------	--

今後の方針	こども家庭センタ設置する。※「こども家庭センター」は、母子保健(妊産婦や乳幼児の健康支援)と児童福祉機能を一体的に担う
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	19	[コメント] 子育て家庭の悩みは多岐にわたり、経済的な問題、夫婦間の関係、孤立感、子どもの発達に関する不安など、複雑かつ多様化するため、毎年見直ししながら、改善していく必要がある。	今後の事業方針 B 改善・見直しを求める
------	----	---	-------------------------

【2次評価結果】

評価点計	19	[コメント] 一次評価者と同様	今後の事業方針 B 改善・見直しを求める
------	----	--------------------	-------------------------

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	【コメント】 ・多様なケースにそれぞれ対応していく必要があり、担当者のご苦労は想像に難くない。プライバシーに配慮しつつもチームとして対応できる体制づくりが、一層すすむことを期待する。
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	4	
2...事業内容見直し	1	5...事業拡大	2	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	こども課

【基本情報】

事業名称	子育て支援PR事業
------	-----------

基本目標	④ すべての世代に配慮された社会保障の充実
------	-----------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	35-2	04	01	01	13	母子保健事業費

事業期間	令和1年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	4,815	3,001	0	0	0
県補助	1,553	449	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	3,620	4,310	0	0	0
一般財源	24	557	0	0	0

補助事業名	母子保健衛生費国庫補助金
-------	--------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	子育てガイドの認知度(未就学児童)				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)	(目標値)
	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
実績値	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
	0.667				
達成率	95.3%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	3	3	4	4
二次評価	3	3	3	4	4

事業の実施理由	妊婦若しくはその配偶者又は乳児期の子育て家庭には、面談等にてきめ細かく必要な情報提供をしているが、幼児期以降の子育て家庭が必要な情報にアクセスができていないのか等の把握ができていない。
---------	--

事業の概要	妊婦若しくはその配偶者又は子ども若しくはその保護者に必要な情報を提供するためおがの子育てガイド作成・配付、母子手帳アプリやHP等にて必要な情報発信を適宜行う。また、広報やポスター等にて広くの子育て支援事業のPRを実施する。 【必要経費】354千円
-------	--

事業の課題	妊婦若しくはその配偶者又は乳児期の子育て家庭には、面談等にてきめ細かく必要な情報提供をしているが、幼児期以降の子育て家庭が必要な情報にアクセスができていないのか等の把握ができていない。
-------	--

今後の方針	子育てのPR事業は今後も継続していく。
-------	---------------------

【1次評価結果】

評価点計		今後の事業方針
17	[コメント] 子育てガイドの認知度も高くなっているが、必要な情報が届くように内容を見直し、ホームページを始めSNS等様々な手段を検討して、実施していく必要がある。	C 来年度、改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計		今後の事業方針
17	[コメント] 一次評価者と同様	C 来年度、改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	5	
2…事業内容見直し	1	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	こども課

【基本情報】

事業名称	妊婦のための支援給付事業費
------	---------------

基本目標	④ すべての世代に配慮された社会保障の充実
------	-----------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	36	04	01	01	40	妊婦のための支援給付費

事業期間	令和7年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	20,000	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	妊婦のための支援給付国庫補助金
-------	-----------------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	妊婦のための支援給付件数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 0	(目標値) 40	(目標値) 0	(目標値) 0	(目標値) 0
実績値	(実績値) 0	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率					

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	4	3	4	4
二次評価	4	4	3	4	4

事業の実施理由	妊娠・出産・育児にかかる経済的な負担を軽減及び現金給付だけではなく、「伴走型相談支援」と一体的に行い、妊娠期から切れ目のない支援が提供できる。
---------	---

事業の概要	すべての妊婦が安心して出産・子育てができるように、母子手帳交付時の面談後（5万円）と出産の8週間前以降でファミリー面談後（5万円）の給付金を支給する。 【必要経費】 妊婦給付金 交付金1,000千円
-------	---

実施により見込まれる効果	妊娠・出産・育児にかかる経済的な負担を軽減及び現金給付だけではなく、「伴走型相談支援」と一体的に行い、妊娠期から切れ目のない支援が提供できる。
--------------	---

実施による成果	すべての妊婦に妊娠・出産・育児にかかる経済的な負担を軽減と妊娠・出産に伴う「伴走型相談支援」を実施できる。
---------	---

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
19	給付金による経済的な負担を軽減と妊娠・出産に伴う「伴走型相談支援」を組み合わせ実施していく。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
19	R7年度から妊婦のための支援給付として制度改正。妊婦限定にしたことと支給時期が妊娠期と産後に期間を伸ばしたことで相談支援の強化に繋がっている。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

	0	3	0	【コメント】
0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	7	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	福祉課

【基本情報】

事業名称	いきいき100歳応援事業
------	--------------

基本目標	④ すべての世代に配慮された社会保障の充実
------	-----------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	40	03	01	04	24	いきいき100歳応援事業

事業期間	令和6年度 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	3,431	4,230	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	祝金贈呈率100%				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100	(目標値) 100
実績値	(実績値) 100	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	4	4	2	4	4
二次評価	4	4	2	4	4

事業の実施理由	町民の長生きを応援することにより、寿命を延ばして人口減少の緩和に繋がる。また、対象を85歳以上と決まった年齢の1回のみとしないことで、毎年支給することで毎年の楽しみとして生きがい支援に繋がる。
---------	--

事業の概要	高齢者に対し、いきいき100歳応援祝金を贈呈し、敬老の意を表すとともに、100歳以上までいきいきと人生を送れるよう応援することを目的として実施する。 対象者基準日（該年度の9月1日）において、住民基本台帳に引き続き1年以上記録されている次の者 (1) 当該年度中に年齢が85歳以上の年齢に達する者 3,000円（おがニャッピー商品券・期限付） (2) 当該年度中に年齢が100歳に達する者 50,000円（現金で支給）
-------	--

事業の課題	おがニャッピー商品を簡易書留で郵送するため、郵便物が福祉課へ返還された場合に対象者へ再配達するまでに、かなりの時間と労力を費やしてしまう。
-------	---

今後の方針	今後においても、毎年の楽しみとして生きがい支援に繋げるため、事業を実施していきたい。必要に応じて支給額等の見直しを行う。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
18	毎年の楽しみとして生きがい支援に繋げるために、今後も実施したい。また、期限付商品券を西秩父商工会へ委託発行してもらうことで、地域経済の活性化を図る一役を担っている。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
18	敬老の意を表すとともに生きがいを支援する目的から今後も必要と考える。また、事業の目的の外金券を用いることで地域の経済活性化を図っている。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

	0	3	0	【コメント】
0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	・病院にかかる数が少ない人は価値がある。そういう人を励ますように健康な人にボーナス的にお祝いをやる。それにより、医療費を使わない事が価値があるPRにもなって医療費抑制もできれば。
1...事業自体見直し	1	4...現状維持	6	
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	Ⓐ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	福祉課

【基本情報】

事業名称	七五さんの集い開催費
------	------------

基本目標	④ すべての世代に配慮された社会保障の充実
------	-----------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	41	03	01	04	26	七五さんの集い開催費

事業期間	令和6年度 ～ 令和10年度	事業終期	令和10年度
------	----------------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	405	556	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	七五さんの集い参加者の割合				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 40	(目標値) 40	(目標値) 40	(目標値) 40	(目標値) 40
実績値	(実績値) 24	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	60.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	3	2	3	3
二次評価	3	3	2	3	3

事業の実施理由	敬老会に変わる新たな事業であり、後期高齢者の入り口となる75歳の方々へ敬老の意を表し長寿を祝福することを目的とする。
---------	--

事業の概要	75歳を対象とし、敬老の意を表する事業として七五（しちご）さんの集いを実施する。
-------	--

事業の課題	敬老会に変わる事業として、昨年初めての実施した。土曜日に開催することで、同伴者も来場をしやすいとしたが、参加者した方の人数が少なかった。周知方法や開催方法について検討する必要がある。
-------	---

今後の方針	来年度以降も75歳を対象に実施したい。 令和7年度も、昨年度と同様、墨鹿屋によるパフォーマンス、ウインドアンサンブルによる演奏、紅白まんじゅう等の配布を行う。今後において、敬老会が変更になったことを知らない人がいるため広報へ掲載するなど周知の徹底や令和6年度のアンケート結果が良かったことから、対象者を広げるなど開催内容の検討をしていく。 また、引き続きアンケートを実施し内容をフィードバックしていき参加者が楽しんでいただけるような事業にする。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	14	[コメント] 敬老会に変わる新たな事業として、昨年度初めて実施した。内容については、概ね良好な意見だったが、より多くの方に参加していただけるよう、周知方法、開催内容など検討していきたい。	今後の事業方針 B 改善・見直しを求める
------	----	--	-------------------------

【2次評価結果】

評価点計	14	[コメント] 敬老会に変わる新たな事業として、令和6年度から実施している。アンケート結果から事業の内容は概ね良好と捉えているが、より多くの対象者に参加していただけるよう改善していくほか、例えば「対象者を多くの方と祝う会」と位置づけ対象者以外も参加を促すなどの見直しを検討する。	今後の事業方針 B 改善・見直しを求める
------	----	---	-------------------------

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	2	【コメント】 ・以前のような敬老会をしてあげた方が良い。(楽しみにしてる人が多かったから) ・現在の70代80代は「敬老」の語に違和感を感じており、しちごさんの会と名称変更したことは秀逸なアイデアだったと感じます。75歳以外の方の参加を求めるなら「しちごさんを祝う会」とか、あとひと工夫加える必要があるのではないか。
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	2	
2…事業内容見直し	2	5…事業拡大	1	
外部評価結果 事業の見直し (開催規模の見直し含め見直しを行う)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
75歳になられる方をお祝いする主旨は継続し、来年度は76歳以上の方にも案内状を送付することを検討されたい。町からの案内状がないと参加しにくいとの意見あり。	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	令和7年度は、75歳になられる方をお祝いするという趣旨とし「七五歳を祝い集い」として開催しました。75歳の方には、案内と出欠確認用のハガキを送付して参加人数を把握し、76歳以上の方には、案内の通知を送付しました。また、75歳以外の方にも来場していただくため、チラシの全戸配布や店舗へのポスター掲示の依頼、SNS等で広く周知を図りました。 令和8年度についても、外部評価の結果を踏まえ、75歳の方をお祝いする方針を継続し「七五歳を祝い集い」として実施いたします。開催にあたっては、町民が高齢者を敬い、感謝と長寿を願う心を育む機会となるような内容を検討するとともに、世代を問わず誰もが気軽に参加できる形式で実施してまいります。

評価年度	令和 7 年度
担当課所	福祉課

【基本情報】

事業名称	シルバー人材センター運営費補助金
------	------------------

基本目標	④ すべての世代に配慮された社会保障の充実
------	-----------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	42	03	01	04	33	シルバー人材センター運営費補助金

事業期間	～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,000	8,000	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	シルバー人材センター会員登録者数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 180	(目標値) 170	(目標値) 170	(目標値) 160	(目標値) 160
実績値	(実績値) 172	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	95.6%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	5	4	4	4	4
二次評価	5	4	4	4	4

事業の実施理由	高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき運営される、シルバー人材センターの円滑な事業運営及び持続的な運営に資するため補助金を交付する。それにより、高齢者の生きがいの充実や生活の安定、地域社会の発展と現役世代の下支えを行える町を目指す。	
事業の概要	公益社団法人小鹿野町シルバー人材センターに対し、補助金を交付する。また、補助の対象となる事業は、センターの定款に定める事業とする。	
事業の課題	会員数については、個別訪問やロコミ等を中心に入会を推進しているが、会員の加齢や病気、その他の就職などを理由を退会する会員が多くなり、減少している。旅館の清掃等、ゴルフ場の草刈の依頼がなくなった。また、草刈作業に当たる会員が減少した受注件数も減り契約額が伸びていない。	
今後の方針	町補助金の収入がない場合、赤字経営になる可能性が高く、事業継続が困難となるため、今後も継続したい。	

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
21	町補助金の収入がない場合、赤字経営になる可能性が高く、事業継続が困難となるため、今後も継続したい。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
21	シルバー人材センター事業は、国及び町の補助金を財源としており、高齢者就業機会確保事業の推進には必要不可欠である。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	1	【コメント】 ・会員の募集が個人的な声掛けに頼られており、情報の伝わりにまだら現象が出ていると感じる。たとえば、65歳となった町民には、活動説明、技能教育制度紹介と応募条件などを説明し、本人の働ける時間や曜日、職種なども書き込める、仮登録用紙を一律に配布するなどの方法をとれば、人材確保の一助になるかと考える。公共施設の清掃、山間部の道路わき草刈り、河原に放置されるゴミのハトロール、公共の公園の管理、見回り、などにはまだまだニーズがあると考え。
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	6	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果 現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	保健課

【基本情報】

事業名称	長寿ハウス運営費
------	----------

基本目標	④ すべての世代に配慮された社会保障の充実
------	-----------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	43	03	01	04	31	長寿ハウス運営費

事業期間	平成17年 ~ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	497	353	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	長寿ハウス利用者数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 905	(目標値) 910	(目標値) 915	(目標値) 920	(目標値) 925
実績値	(実績値) 1022	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	112.9%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	5	2	5	3
二次評価	2	5	2	5	3

事業の実施理由	毎月1回開催している認知症カフェは15人程度利用があり、ゲーム等の実施にあたっては、施設の規模的に活動が制限される場合がある。
---------	---

事業の概要	高齢者の交流の場として、定例的なつどいや作業所のふれあいキッチンとして利用し、高齢者や障害者の生きがいづくりとなるよう長寿ハウスを運営する。
-------	--

事業の課題	毎月1回開催している認知症カフェは15人程度利用があり、ゲーム等の実施にあたっては、施設の規模的に活動が制限される場合がある。
-------	---

今後の方針	高齢者や障害者にとっては階段や段差もなく、近くに駐車場もあることから、本施設は利用しやすい環境にある。町や社会福祉協議会が計画した事業であっても、参加者が主体的に活動できるよう安全に利用しやすい環境を整えていく。また、町立病院への受診やバスの待合等、本施設は自由に利用できる点からも引き続き交流の場、憩いの場として開放していく。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	本施設は高齢者の方を対象に事業をするにあたり利用しやすい環境にあり、他の施設では、立地面等を含めると代替が効かない状況である。そのため、引き続き施設整備を行い、交流の場、憩いの場として開放していく。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
17	高齢者の介護予防、交流の場としての活用、病院等利用者がバスの待ち時間に利用するなどしている現状から継続使用していく必要がある。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	7	
2…事業内容見直し	0	5…事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	保健課

【基本情報】

事業名称	訪問介護事業所支援事業
------	-------------

基本目標	④ すべての世代に配慮された社会保障の充実
------	-----------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	44	03	01	04	61	訪問介護事業所支援事業

事業期間	令和6年度 ~ 令和10年度	事業終期	令和10年度
------	----------------	------	--------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,158	1,118	0	0	0

補助事業名	
-------	--

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	小鹿野町内訪問介護事業所数				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 2	(目標値) 2	(目標値) 2	(目標値) 2	(目標値) 2
実績値	(実績値) 2	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	100.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	3	2	4	5	4
二次評価	3	2	5	5	4

事業の実施理由	制度の実施にあたっては、他自治体では訪問介護事業所における補助がなく、参考となる事例がないため、本補助金の効果検証が必要だと考えられる。
---------	--

事業の概要	町が訪問介護事業所における利用者の処遇向上と健全経営の助長及び事業安定を図るため、介護保険法第8条の2に規定する訪問介護事業を行う法人に対し、町内に設置する訪問介護事業所の運営を支援するため、予算の範囲内において、訪問介護事業所補助金を交付する。
-------	---

事業の課題	制度の実施にあたっては、他自治体では訪問介護事業所における補助がなく、参考となる事例がないため、本補助金の効果検証が必要だと考えられる。
-------	--

今後の方針	事業所の需要などを聞き取り、必要に応じて要綱改正を実施するなど健全経営の助長や事業の安定を図るためこの補助事業を継続していく。
-------	---

【1次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
18	町内では、訪問介護事業所が3事業所となっており、3事業所で小鹿野町民の訪問介護サービスの需要を満たしている所である。また、訪問介護事業所の経営については全国的に赤字経営が続いており、3事業所においても赤字経営が続き、運営が厳しい状況である。今後数十年後を見据えた時、本補助金の交付を交付することにより、小鹿野町民へ安定的に訪問介護サービスを提供することができると考えられるため、今後の事業方針としては現状維持とする。	A 現状維持(従来通り実施)

【2次評価結果】

評価点計	【コメント】	今後の事業方針
19	令和6年度の介護報酬改定で訪問介護事業所は全国的に厳しい経営を余儀なくされている。当町においては、町直営の事業所のほか民間事業所が2事業所あるが、経営は厳しいようである。住民の訪問介護サービス提供を維持するためにも継続が必要と考える。	A 現状維持(従来通り実施)

【外部評価委員による意見】

0...廃止の方がよい	0	3...他事業と統合検討	0	【コメント】
1...事業自体見直し	0	4...現状維持	7	・どのようなサービスが受けられるか、受ける条件は何か、しちごさんの会などのタイミングでパンフレット配布など実施して周知をひろげていただきたい。
2...事業内容見直し	0	5...事業拡大	0	
外部評価結果				
現状維持				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	㊤ 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	

評価年度	令和 7 年度
担当課所	保健課

【基本情報】

事業名称	予防接種費
------	-------

基本目標	④ すべての世代に配慮された社会保障の充実
------	-----------------------

予算科目	番号	款	項	目	事業	事業名
	45	04	01	02	12	予防接種費

事業期間	令和元年度 ～ 令和8年度	事業終期	令和8年度
------	---------------	------	-------

【財源内訳】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
国庫補助	0	0	0	0	0
県補助	0	0	0	0	0
地方債	2,900	4,500	0	0	0
その他	208	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0

補助事業名	地方消費税交付金
-------	----------

【評価指標(KPI)・実績値】

項目	インフルエンザ予防接種率				
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(目標値) 0.5	(目標値) 0.52	(目標値) 0.55	(目標値) 0.58	(目標値) 0.6
実績値	(実績値) 0.48	(実績値)	(実績値)	(実績値)	(実績値)
達成率	96.0%				

【定性評価】

	事業妥当性評価 (目的)	町民ニーズ評価 (必要性)	サービスの向上 (生活保障)	効果性評価 (目標達成)	優先度評価 (緊急性)
一次評価	2	1	5	2	5
二次評価	2	1	5	2	4

事業の実施理由	任意接種のため勧奨程度のお知らせしかできない。
---------	-------------------------

事業の概要	B類疾病予防接種の希望者が接種できるように勧奨他、町独自の事業として、带状疱疹、高齢者肺炎球菌の任意接種を勧奨していく。
-------	--

事業の課題	任意接種のため勧奨程度のお知らせしかできない。
-------	-------------------------

今後の方針	引き続き希望者が接種できるよう体制の確保を図る。 带状疱疹の任意接種については今年度末で終了予定。
-------	--

【1次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
15	次年度以降、引き続き希望者が接種できるよう体制の確保を図る。 带状疱疹の任意接種については今年度末で終了予定。	C 来年度、改善・見直しを求める

【2次評価結果】

評価点計	[コメント]	今後の事業方針
14	継続すべき予防接種もあるが、見直しが必要な予防接種もある。	C 来年度、改善・見直しを求める

【外部評価委員による意見】

0…廃止の方がよい	0	3…他事業と統合検討	0	【コメント】 ・流行判断の難しい予防接種もあると思うがその都度の適正な運用をお願いします。
1…事業自体見直し	0	4…現状維持	2	
2…事業内容見直し	5	5…事業拡大	0	
外部評価結果 事業の見直し (必要と思われる接種の適正な運用をしていく)				

【総合評価】

評価コメント	今後の事業方針	次年度に向けた担当課所の対応
	A 事業継続 B 事業の見直し C 事業廃止	感染状況の情報収集を行い、適正な運用を行う。